



# 『らくだより』

## スパークスの中東地域における情報発信レポート

### 第90号(2011年7月29日)



#### 【外国人労働者への依存】

GCC(湾岸協力会議)加盟国では、労働者のうち外国人が占める割合が70%程とされています。熟練労働者、単純労働者ともに、長年にわたって外国人に依存してきた結果外国人依存が構造的になっているそうですが、「アラブの春」を受けて、自国民に職を提供することの重要性について政府が認識しはじめたようです。

シティバンクの調査によれば、GCC加盟国にはそれぞれ自国の労働者人口よりも多くの職があるはずですが、実際には多くの国で自国の労働力人口の半分も雇用されていないとのこと。こうしたアンバランスさは政治的な不安に繋がる可能性があり、実際に「アラブの春」では政治的な自由とともに、生活水準の向上や雇用機会の増加が訴えられています。

サウジアラビアでは、自国民の就業機会を増やすために、同国において6年間働いた外国人労働者の就労許可を更新しないという閣僚の発言も出ました。サウジアラビアでは自国民は約400万人しか雇用されておらず、そのうち約280万人は公的セクターで雇用されています。一方で民間セクターで働く人の約90%は外国人が占めるとのことです。

サウジアラビアでは1994年に「サウジアラビア人化」とも呼べるような計画が始まり、民間セクターで雇用される外国人労働者の数に制限をかけることが計画されましたが、実際には民間セクターにおける自国民の雇用の増加には繋がっていません。サウジアラビアでは国民の約70%が30歳未満であり、自国民の雇用情勢については今後更に悪化すると見られています。一方で外国人労働者の制限を強化した場合、同国のビジネスに大きな影響を与える懸念があります。

また、クウェートでは既に外国人居住者の数に制限をかけることが検討されていますが、その一環で、たとえば単純労働者は6年まで、半熟練の労働者が家族と居住する場合は10年まで、熟練労働者は12年までといった具合に技能に応じて年数に制約をかけることも検討されているそうです。長期的に外国人労働者への依存を減らす必要性は多くのエコノミストが指摘するところですが、短期、中期的には難しいというのが現状のようです。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



## 【ビル・ゲイツと中東の投資会社が共同投資】

バーレーンに本拠を置き、エネルギー関連への投資にフォーカスした投資会社であるエネルギー・キャピタル・グループとマイクロソフトの創業者のビル・ゲイツ氏が共同で6,000万ドルを投資したことが明らかになりました。投資先はヒューストンのNEOS GeoSolutionsという会社で、天然資源の探査ソリューションを提供している会社です。エンジニアや地質学の専門家を集め、資源会社が探査の計画を立て、機器をリースし、実際に削岩する際に役立つ技術を開発しています。エネルギー・キャピタル・グループは資金を投資するだけでなく、中東におけるネットワークを生かしてNEOS GeoSolutionsのビジネスも支援するとのことでした。

## 【マラドーナ氏がアルゼンチン代表監督候補に？】

第88号でもお伝えしましたが、マラドーナ氏はつい先日、アラブ首長国連邦のクラブチーム、アルワスルの監督に就任いたしました。

一方で、先日行われた南米選手権では、アルゼンチンは開催国であったにも関わらずベスト8に留まりました。マラドーナ氏自身も「私が監督なら辞任する」といった批判をしていましたが、代表監督を務めていたバチスタ氏の辞任が今月25日に発表されました。

これを受けて早速次の代表監督候補についてメディアでの憶測が広がっていますが、マラドーナ氏自身も有力候補とされており、アルワスルはこの噂を完全に否定し騒ぎになっています。

アルワスルは、マラドーナ氏についていかなる要請も来ていないとした上で、9月15日にはカップ戦が、10月15日にはリーグ戦が始まる予定で、マラドーナ氏も予定通りアラブ首長国連邦に到着するだろうと発表しています。他に同国のクラブチームアル・ジャリーラの監督に就任したばかりのアレハンドロ・サベラ氏も候補に挙がっているようですが、こちらもアル・ジャリーラがアルワスル同様に否定をしています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



## 【アブダビの経済成長】

Statistics Centre Abu Dhabiの発表によれば、アブダビの昨年の名目GDPは15.9%増加したそうです。原油の産出量はほぼ変わらなかったものの、原油高が奏功したとされています。原油への過度の依存を減らす方針を定めてはいますが、昨年は原油以外の部分も名目ベースで5.6%増加したそうで、原油への依存を減らす方針がうまく行っていると言えそうです。昨年のGDPのうち原油が占めた割合は49.7%とされていますが、この数値は原油価格の動向次第で大きく振れてしまいます。今年に入ってから原油の産出量も増えていることから、今年のGDPは原油部分によって更に成長することが期待されています。一方で、消費者物価指数は昨年3%以上上昇しました。これは主に住宅、公共財、食料、飲料などが牽引したそうです。

## 【アブダビのホテルが好調】

力強い経済成長を受けてアブダビのホテル産業も好調のようです。アブダビ・ツーリズム・オーソリティによれば、今年の上半期は宿泊者数、稼働率の観点で過去最高の業績となったそうです。一方で業界関係者は、2011年は良い年ではあるが過去最高とは言えないと話しており、稼働率は上昇しても宿泊単価は下落していることを理由として挙げています。現在アブダビのホテルは20,000室を超えた規模ですが、年末までに更に4,000室以上増加する予定です。そのため、新しいホテルとの競合が起こり、宿泊単価は下がっているそうです。

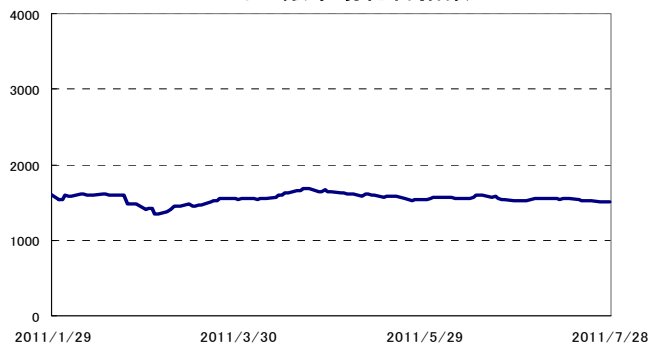


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

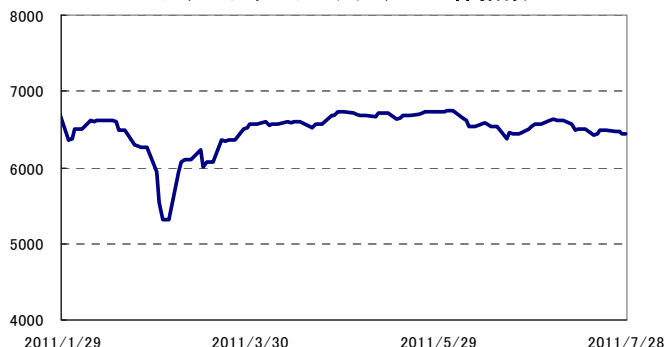


## 【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移 (各市場の直近6ヶ月)

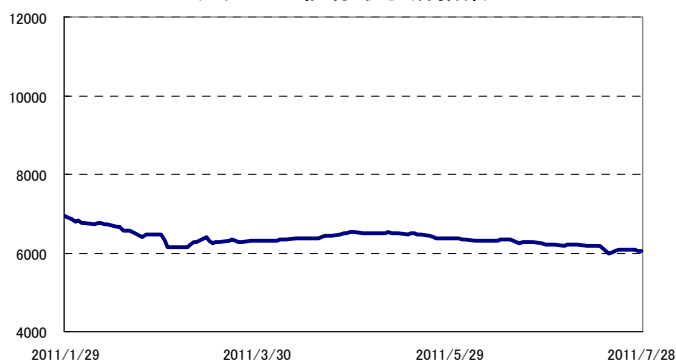
ドバイ金融市場総合指数



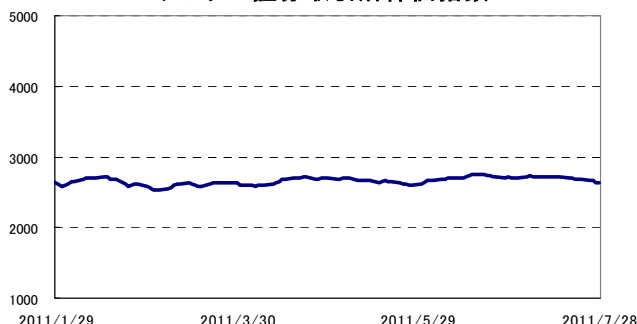
サウジアラビア タダウル全株指数



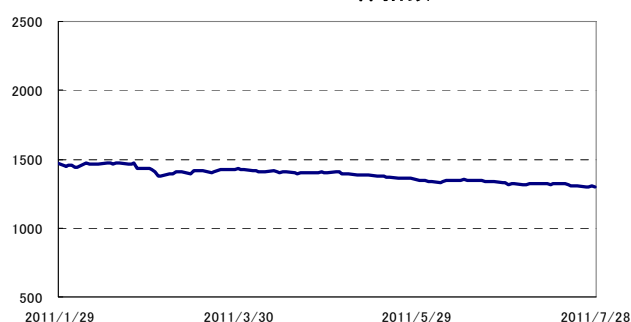
クウェート証券取引所指数



アブダビ証券取引所株価指数



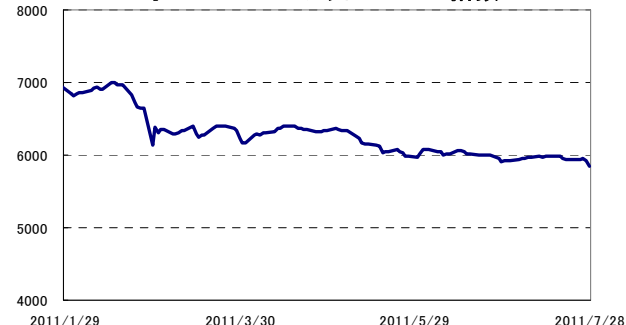
バーレーン全株指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。